

令和6年産 麦作情報 第2号

宮城県亘理農業改良普及センター

令和5年12月21日発行

電話 0223(34)1141 FAX 0223(34)1143

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

1 麦生育状況

地区名	品種	播種時期	播種方式	12月15日調査		
				草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	
名取市本郷	シュンライ	10月27日	条播	本年値	11	380
				平年比	126%	142%
名取市下増田	シュンライ	10月23日	散播	本年値	11	1,109
				平年比	123%	319%
名取市愛島	シュンライ	10月23日	条播	本年値	10	343
				平年比	125%	83%
平均				本年値	11	611
				平年比	125%	181%

・播種時期が例年より早く、播種後に気温が高い日が続いたため、分けつは良好で、概ね目標m²当たり茎数(越冬前(年内)茎数 400～500本/m²)を確保しています。

※平年比は令和元年～5年産の平均値との比較
※名取市愛島は令和5年産との比較

2 今後の栽培管理

1) 麦踏み(踏圧)

- ・効果：根張りが良くなる。根の浮き上がり防止。分けつ増加。徒長防止など
- ・時期：積雪前に麦踏みを1～2回実施しましょう。
茎立ち(主茎の稈長が2cm程度)前までに実施、晩限は3月上旬頃です。
- ・注意点：ほ場が湿った状態で行うと土が硬く締まり、根の伸長阻害や排水性悪化の原因となります。ほ場が乾いているときに実施しましょう。

2) 追肥<大麦>

- ・根の浮き上がり防止、分けつ増加、徒長防止から追肥後は、麦踏みを行いましょう。

追肥の種類 (生育ステージ)	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm) (3月中旬～4月上旬)	減数分裂期 (幼穂長20～30mm) (4月中旬～4月下旬)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的	有効茎歩合の増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟の向上	—
10月中旬に 播種したほ場 (生育量が多い)	窒素成分 2～2.5kg/10a (硫安 5～10kg/10a)	窒素成分 2～2.5kg/10a (硫安 5～10kg/10a)	硬質麦 防止のため 実施しない